

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~6日	6月 ~13日	6月 ~20日	6月 ~27日	7月 ~4日	7月 ~11日	7月 ~18日	7月 ~25日	8月 ~1日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	32	39	20	24	37	39	30	15 (16)	34
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	12	23	17	12	24	13	19	6 (7)	13
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	2	1	1	4	4	3	2	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	6	9	5	5	8	4	3	2	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	6	4	1	2	5	6	3	0	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	2	1	1	0	0	0	0	0	1
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	2	5	0	2	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* その他の1件はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第30週(7月26日~8月1日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3	1					1	1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		2
四類	3	日本紅斑熱	2			1			1	
		レジオネラ症	1	1						
五類	7	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2			1				1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1		1
		梅毒	2					2		
新型インフルエンザ 等感染症	375	新型コロナウイルス感染症	375	27	8	90	2	176	24	48

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第30週に、176件の報告があり、増加しています。全国的に急速に拡大しており、緊急事態宣言が、既に発令されている東京都と沖縄県に加え、8月2日から埼玉県、千葉県、神奈川県及び大阪府にも発令されました。

広島県では、直近1週間の人口10万人当たりの新感染者数が、10人を超えていることや、他府県の上昇傾向が継続していることを踏まえ、「新型コロナ感染拡大防止早期集中対策」を開始しました。早期対策により、対策期間の短縮と総感染者数の減少が期待されます。

感染の拡大を防止するため、引き続き、マスク着用、手洗い、「密」の回避など、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。また、通勤、通学等を除き、市外への往来は最大限自粛しましょう。

【参考】新型コロナ感染拡大防止早期集中対策【R3.7.30会見】(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20210730.html>

新型コロナウイルス新規感染者数の推移(広島市)



2 RSウイルス感染症

定点当たり5.83人の報告があり、前週と比べて減少していますが、依然として多い状況が継続しています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は、重症化しやすいといわれています。咳等の呼吸器症状がある人との接触を避け、おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒、手洗いに努めましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	
小児科	インフルエンザ	-	-	0.05		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.27		
	咽頭結膜熱	2	0.08	0.40			RSウイルス感染症	140	5.83	0.82		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.13	1.62			急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	52	2.17	3.31			流行性角結膜炎	1	0.13	0.78		
	水痘	1	0.04	0.34			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	4.00				無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.27				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	
	突発性発しん	12	0.50	0.28				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.88			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06		

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい → (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	12	40歳代・O26
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	30歳代
5	梅毒	2	34	20歳代・2人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(39.0°C) 熱性痙攣	4	2021/06/20	咽頭拭い液	ハラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0°C) 鼻炎	1	2021/06/07	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス ハラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	咽頭炎	2	2021/06/14	咽頭拭い液	ライノウイルス ハラインフルエンザウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載